

# すい 地域推しんぶん



令和6年6月発行

発行・編集／社会福祉法人広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域福祉係

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号（BIG FRONT ひろしま6階 広島市総合福祉センター内）

TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413 E-mail：chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp

## 活動拠点は地域福祉活動の拠り所。できる範囲で、少しずつ。

活動拠点の“カタチ”は、地域によって様々です。今回は「地区社協活動拠点づくり応援成事業」や「地区社協活動拠点活性化支援事業」を活用し、地区社会福祉協議会の活動拠点の整備を行い、地域福祉活動の活性化を図っている2地区について紹介します。

## 井口台地区社会福祉協議会（西区）

井口台連合町内会

ホームページリンク▶



場 所：西区井口台1-5-20 広島銀行井口台支店2階

ひろぎんコミュニティープラザ内

開設日時：毎週月曜日 13:00～15:00

連絡先：070-1873-3073

### ～広島銀行跡地に拠点新設～



▲広島銀行の2階が拠点。窓口機能の移転に伴い、銀行から地域に相談が入った。

「自分たちが取材を受けて良いのだろうか？活動拠点活性化支援事業を今年度から始めたばかりだけど…」と少し戸惑いながらも、取材当日は森脇会長、増原副会長、新田事務局長、大神氏、本西氏の5名が快く対応してくださいました。



会議用のスペースの奥にはパーティションと事務作業用のスペースも

集会所を活動拠点として登録していた時期もありましたが、集会所には駐車場がなく、地域内に1つしかないため部屋の予約も常に満杯でした。体制変更もあり一度は拠点を閉鎖しましたが、「拠点を別の場所に設置したい」と役員同士で常にご話をしていました。この度、広島銀行様から『移転するので是非使ってください』と話があり、まずは「活動拠点づくり応援成事業」で拠点開設に必要な備品を整備しました。



森脇会長

## 拠点設置の効果

- 占有場所を確保できたことで、会議場所の調整がスムーズになり、定期開催の講座の企画も可能となった。

## むずかしさ

- 広島銀行のATMは現在も稼働中のため、1階が使えず、地域住民からすると入口もわかりにくい。

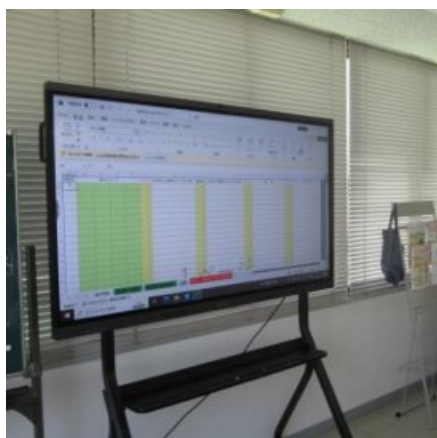
## 今後の展望

これまで通り集会所で地域活動の窓口を担いつつ、この拠点では講座や会議を開催したり、事務作業を行うことに！

⇒スマホ教室や百歳体操を拠点で実施中！

来所したくてもできない人もいます。活動拠点活性化支援事業の「その他経費」で今後は電話等の連絡手段を整備しながら体制を整えたい。

みんなが集まれば、自然に現状の情報交換の場所となる▼



◀ パソコンと連動した大型モニター。拠点づくり応援助成事業で購入し、会議でも大活躍している。



▲ 掲示板に掲示されたチラシ

先日、私立保育園の先生が来所され、「チラシを町内会の掲示板に掲示してもらえないか？」と相談がありました。今後は町内会や他の地域団体にどのように周知していくかを考えていきたいです。



増原副会長

## ～井口台地区社会福祉協議会から最後にひと言～

他地域と同様に地域が抱える問題に加え、団地特有の難しさもあるので、拠点が設置できても周知はまだこれからです。今回の2つの事業をきっかけに新しいことばかりではなく、従来の地区社協の活動は継続しつつ、まずは事務機能の強化や会議・講座の場所として拠点を色々な団体に使ってもらうことで、徐々に拠点を中心とした地区社協の体制を整備していきたいと思えます。

# 福田地区社会福祉協議会（東区）

ホームページリンク▶



## ～古民家の一部を改修し移転～

場 所：東区福田 1-753-6

開設日時：毎週月～金曜日 9:00～12:00

連絡先：082-215-2296

「この場所は誰でも来られる。福田の中心で、近くに目印になる建物もあるから。」  
その言葉通り、迷うことなく活動拠点に到着でき、岡平会長、阿部事務局長、栗野地域福祉推進員の3名にお話を伺いました。



▲拠点入口横の長椅子も重要な“情報交換の場所”



▲以前より候補として考えていた古民家。建物のオーナーに何度も交渉し利用できることになった。



岡平会長



◀広い駐車場も魅力の一つ。

もともとは、公民館の1室を拠点としていましたが、備品の保管もできず、相談者への周知にも苦労していました。古民家の一部を「活動拠点づくり応援助成事業」を活用し改修できたことで、占有による事務局機能の強化につながりました。また色々な場面で何度も繰り返し広報したことで、相談者の増加に加え、各団体の情報交換の場にもなっています。



◀拠点開設のチラシ

▼民生委員が配布

**困ったこと・相談したいことがあれば電話を**  
**福田地区社会福祉協議会「生活相談窓口」**  
 〒732-0029  
 福田1丁目753番6（ラポールひろしま 隣の古民家）  
 電話・FAX 082-215-2296  
 平日 9:30～11:30



農協や郵便局にも設置▲

## 周知の結果、取材中にも



◀ 居宅介護支援事業所の職員の方が「ふくだオレンジカフェ」（認知症カフェ）の件で来所。

電話では躊躇してしまうような内容でも、拠点があることで気軽に相談でき、相談する側も拠点があるメリットを感じている。

## さらに



◀ 電話が鳴ったり

相談者宅の確認をしたり ▶



## ～福田地区社会福祉協議会から最後にひと言～

この古民家は社協スタッフが以前からアンテナを張っていたことから、活用につながりました。古民家などが近くになくても、その気でアンテナを張っていれば人と人の何気ないつながりから、活動の拠点となる場所は見つかるかもしれません。今後はこの拠点を中心に、住民のニーズを集約し、例えば「スマホ学習支援」や「生活支援」のような活動をできることをできる人が行う「この指とまれ」方式でスタッフを集めながら展開して、地区社協活動を充実させていきたいです。

## 地区社協活動拠点活性化支援事業 2次募集のお知らせ

- 地区社協活動拠点への拠点スタッフの配置を支援することにより、拠点において、住民同士がつながり合い、地域における様々な困りごと等について、誰もが気軽に相談できる体制づくりを促進し、様々な課題を解決していけるまちづくりを目指すことを目的に実施しています。
- 令和6年度から助成期間を撤廃したことに伴い、地区社協活動拠点活性化支援事業の2次募集を行います。
- 右記の事業実施期間における拠点スタッフの配置にかかる経費の助成を行います。

※詳細については各区社協へお気軽にお問合せください。

期 間
【募集期間】 7月1日 ～ 7月31日
【事業実施期間】 10月1日 ～ 3月31日